





散策の記

11・11 第30回 小山地区福祉まつり

「ふれあいのじどり」「を巡って

地域に馴染んだ季節の催し「ふれあいのじどり」は、今年で30回を迎え11月11日(土)午前10時から午後2時まで公民館全館を会場に多彩な内容で開催されました。晩秋としては暖かい日に恵まれて来場者も多くありました。当日を振り返り、その盛況さを紹介いたします。

1F・大会議室

日高ひより&小山玉すだれローズジュニアによる妙技「ほかけ舟」などには会場全体が沸きました。



「セラピードッグとのふれあい」その賢い動作に拍手喝采!



この後、地域薬剤師氏による「薬の知識」講話があり全体研修として勉強しました。そして、午後は回会場でポッチャの体験競技教習が行われ、学びながら笑いもこぼれる楽しいゲームが展開され心が躍りました。

1F・ロビー

ぶんぶんコマ作りと不思議な絵のコーナーに子どもたちが引き寄せられ

1F・中会議室

地域各団体の活動紹介では、日頃の活躍が想起され励まされました。



2F・料理実習室

秋野菜がいっぱいはいのけんちんうどんに行列ができ、早々に完売の様。

2F・多目的室

懐かしい紙芝居です。幼い児と共に高齢の方々が楽しまれていました。

※館内会場から外へ、そこには出店が並んでいます。野菜やおにぎり、団子もあります。手作り工芸品などもよく売っていたようです。そして、別棟・コミュニティ室は「ほっとほっとカフェ」です。コーヒーやお茶が無料で振る舞われ、ついお話しに花が咲くなど長居をして一日を楽しみました。

散策取材・須藤 千尋

地域に密着、宮下子ども会

宮下育成会会長 大山 詠子

子ども会紹介

宮下子ども会の活動は、自治会の賛助・協力を受けて一年を通して様々な事業を行っています。まず、特異な体験学習として境川沿いのおやこ村の畑で4月・春の種まきと植付けを行い、秋11月にみんな収穫祭を賑やかに開きます。また、年中行事として7月・夏まつりの出店、9月・ふるさとまつり運動会への参加など他、貴重な体験を経て冬にはクリスマス会や6年生お別れ遠足の実施など楽しい活動がいっぱいです。どの事業活動でも子ども



市・子ども新聞コンクール入賞「宮下新聞」と制作の子どもたち

同士の間では学年や年齢・男女を問わず仲よく交流することを心掛けていますので、お互いのコミュニケーションが図られ、リーダーシップも含め相互の育て合いをしています。



大忙しの夏まつりです...

また、保護者も子どもたちの成長を実感できるなど行事を通して達成の喜びと充実感を味わっています。お仲間募集中♪



29年10月 敬老会での公演を終えて。※後列右から5人目 広沢さん

みんないひと 秘蔵

相模原市社協福祉マンガより



編集記

今年度は、残念なことに不順な天候と不穏な事々が続きました。次年にはこのようなことの無い豊かで恵まれた、充実した年になる様に期待しています。

広報委員長 山田 良章

趣味に生きる 紹介シリーズ(5)

「アロハとは愛」ーフラとの出会いー 広沢 礼子さん(久保原地区在住)

私は10年毎に一つ趣味を増やしていくと決め30歳でテニスを、40歳でゴルフ、そして50歳の時にフラに出会いました。以前からハワイへ幾度か旅行もしてその都度フラを観る機会も沢山ありましたが、白らが踊ることには最初は不安がありました。

でも、クム(先生)と素敵な仲間に出会いハワイの音楽とメロディ、ウクレレのやさしい音色やスティールギターの響きなど総てが好きになり、その後のレッスンも楽しく、気付くと生活の中にフラに関するものが増えていきます。憧れのハワイ・アラモアナSセンターのホールで踊ったり、サンフランシスコの桜まつりに参加したりとあつという間に10年が過ぎました。

そして60歳。フラ・インストラクターの免許を頂いたことを機に日本では初めてとは思いますが、文科省認可協同組合フラ指導者支援NW加盟教室としてハワイアンネームを頂き「カノエ・レファ」(※レファの花に霧がやさしくかかる)スタジオをオープンしました。以来、フラが大好きという仲間が集まり心地よい音楽の下で健康的で楽しいレッスンをしています。アロハとは愛。自分自身がアロハを愛する心をもつこと。そしてまわりの人すべてにアロハを分かちあい笑顔の日々であること。

これからも地域のボランティアとしてフラの活動を楽しみ拡げていきたいと思っています。